

## 安全データシート

版番号 改訂日:  
0.0 2024/04/22

前回改訂日: 2024/04/18  
初回作成日: 2024/04/18

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : SC24WW

## 供給者の会社名称、住所及び電話番号

販売会社 : エプソン販売株式会社  
東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー  
電話番号 : 03(5919)5211(代表)  
製造業者 : セイコーエプソン株式会社  
長野県塩尻市広丘原新田 80 番地  
緊急連絡電話番号 : 03(5919)5211(代表)

## 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : インクジェット用インキ (UV硬化型)

## 2. 危険有害性の要約

## 化学品の GHS 分類

急性毒性 (経口) : 区分 4

皮膚腐食性/刺激性 : 区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分 1

皮膚感作性 : 区分 1A

生殖毒性 : 区分 2

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 区分 1

水生環境有害性 長期 (慢性) : 区分 3

## GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H302 飲み込むと有害。  
H315 皮膚刺激。

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。  
H318 重篤な眼の損傷。  
H361 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。  
H372 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。  
H412 長期継続的影響によって水生生物に有害。

## 注意書き

### 安全対策:

P201 使用前に取扱説明書を入手すること。  
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
P264 取扱い後はよく手を洗うこと。  
P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
P273 環境への放出を避けること。  
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

### 応急措置:

P301 + P312 飲み込んだ場合：気分が悪い場合、毒物相談センターまたは医師等に連絡すること。  
P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。  
P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。  
P310 直ちに毒物相談センターまたは医師等に連絡すること。  
P314 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。  
P330 口をすすぐこと。  
P333 + P313 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。  
P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

### 保管:

P405 施錠して保管すること。

### 廃棄:

P501 適用法令に従い内容物/容器を廃棄すること。

## 追加ラベル

以下の割合でこの混合物を構成する成分は、急性経口毒性が未知である：2.5948 %  
以下の割合でこの混合物を構成する成分は、急性経皮毒性が未知である：2.5948 %  
以下の割合でこの混合物を構成する成分は、急性吸入毒性が未知である：2.5948 %  
混合物中の次の割合の成分は、水生環境にとって危険有害性が未知である：2.5948 %

## GHS 分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物  
 化学名又は一般名 : インクジェット用インキ（UV硬化型）

#### 成分

Chemical name	EC No	CAS No	weight-%	Classification according to 67/548/EEC	Classification according to Regulation (EC) No. 1272/2008 [CLP] / Other	REACH registration number
2-Propenoic acid, phenylmethyl ester	219-673-9	2495-35-4	30-40	Xi; R36/38-43	Skin Irrit. 2 (H315) Eye Irrit. 2A (H319) Skin Sens. 1 (H317)	-
Morpholine, 4-(1-oxo-2-propenyl)-	-	5117-12-4	10-20	Xn; R22-48/22 Xi; R41 R43	Acute Tox. 4 (H302) Eye Dam. 1 (H318) Skin Sens. 1 (H317) STOT RE 2 (H373)	-
Titanium dioxide	236-675-5	13463-67-7	10-20	-	Eye Irrit. 2B (H320)	-
2H-Azepin-2-one, 1-ethenylhexahydro-	218-787-6	2235-00-9	10-20	Xn; R22 Xi; R36-43 T; R48/23	Acute Tox. 4 (H302) Eye Irrit. 2 (H319) Skin Sens. 1B (H317) STOT RE 1 (H372)	-
Diphenyl-2, 4, 6-trimethylbenzoyl phosphine oxide	278-355-8	75980-60-8	10-20	Repr. Cat. 3; R62	Repr. 2 (H361f) Repr. 2 (H361)	-
2-Propenoic acid, 2-(2-ethoxyethoxy)ethyl ester	230-811-7	7328-17-8	5-10	T; R24 Xn; R22 Xi; R36-38 R43 N; R51-53	Acute Tox. 4 (H302) Acute Tox. 3 (H311) Skin Irrit. 2 (H315) Eye Irrit. 2 (H319) Skin Sens. 1A (H317) Aquatic Chronic 2 (H411)	-
Aluminum hydroxide	244-492-7	21645-51-2	1-5	-	-	-
Caprolactam	203-313-2	105-60-2	0.1-1	-	Acute Tox. 4 (H302)	-

					Acute Tox. 4 (H312) Skin Corr./Irrit. 2 (H315) Eye Dam./Irrit. 2 (H319) Repr. 2 (H361) STOT SE 2 (H371) (神経系) STOT SE 3 (H335) (気道刺激性) STOT RE 1 (H372) (呼吸器)	
4-Methoxyphenol	205-769-8	150-76-5	< 1	Xn; R22 Xi; R36 R43	Acute Tox. 4 (H302) Eye Irrit. 2 (H319) Skin Sens. 1 (H317) Skin Irrit. 2 (H315) Aquatic Acute 3 (H402)	-

## 4. 応急措置

- 一般的アドバイス : 危険域から避難させる。  
 医師に相談する。  
 この安全データシートを担当医に見せる。  
 被災者を一人にしない。
- 吸入した場合 : 意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。  
 症状が持続する場合は、医師に連絡する。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚の炎症が継続する場合は、医師に連絡すること。  
 皮膚に付着した場合は、水で十分にすすぐこと。  
 衣服に付いた場合、衣服を脱ぐ。
- 眼に入った場合 : 少量が目にはねて入った場合、取り返しの付かない組織破壊と失明を引き起こす可能性がある。  
 眼に入った場合は、直ちに多量の水で洗浄し、医師の手当てを受ける。  
 病院に運ぶ間にも、眼を洗浄し続けてください。  
 コンタクトレンズをはずす。  
 損傷していない眼を保護する。  
 洗浄中は眼を大きく開ける。  
 眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
- 飲み込んだ場合 : 気道を確保する。  
 無理に吐かせないこと。  
 ミルクやアルコール飲料を与えない。  
 意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。  
 症状が持続する場合は、医師に連絡する。  
 直ちに被災者を病院に連れて行く。

- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 飲み込むと有害。  
皮膚刺激。  
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。  
重篤な眼の損傷。  
呼吸器への刺激のおそれ。  
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。  
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。
- 医師に対する特別な注意事項 : 症状に応じた治療を行う。

## 5. 火災時の措置

- 使ってはならない消火剤 : 大型棒状の水  
特有の危険有害性 : 火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。
- 有害燃焼副産物 : 有害燃焼生成物は知られていない。
- 特有の消火方法 : 汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。  
火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 保護具を使用する。
- 環境に対する注意事項 : 製品を排水施設に流してはならない。  
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。  
製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 不活性の吸収材（例えば、砂、シリカゲル、酸性結合剤、汎用結合剤、おがくず）で吸収させる。  
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

- 火災及び爆発の予防 : 標準的な防火方法。
- 安全取扱注意事項 : エアゾールの発生を避けること。  
蒸気/粉じんを吸い込まない。  
曝露を避ける—使用前に特別指示を受ける。  
皮膚や眼への接触を避けること。  
個人保護については項目 8 を参照する。  
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。  
作業室の換気や排気を十分に行う。  
取扱い中のこぼれを防止するには、金属製のトレイにボトルを載せておく。  
洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。

皮膚感作性並びに喘息、アレルギー、慢性または反復性の呼吸器疾病を有する人は、この製剤を使用するすべての工程に従事しないことが望ましい。

- 接触回避 : 非該当  
 衛生対策 : 使用中は飲食しないこと。  
 使用中は禁煙。  
 休憩前や終業時には手を洗う。

## 保管

- 安全な保管条件 : 容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。  
 一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるためまっすぐ立てておく。  
 ラベルの予防措置を遵守する。  
 電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。
- 保管安定性に関する詳しい情報 : 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度	出典
酸化チタン (IV)	13463-67-7	OEL-M (吸入性粉じん)	1 mg/m <sup>3</sup> (チタン)	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		OEL-M (総粉じん)	4 mg/m <sup>3</sup> (チタン)	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		OEL-M (吸入性粉塵)	1.5 mg/m <sup>3</sup> (チタン)	日本産業衛生学会 (許容濃度)
	詳細情報: 発がん物質, 「第 2 群 B」に分類される物質は, 証拠が比較的十分でない物質, すなわち, 疫学研究からの証拠が限定的であり, 動物実験からの証拠が十分でない。または, 疫学研究からの証拠はないが, 動物実験からの証拠が十分である。			
		OEL-M (総粉塵)	2 mg/m <sup>3</sup> (チタン)	日本産業衛生学会 (許容濃度)
	詳細情報: 発がん物質, 「第 2 群 B」に分類される物質は, 証拠が比較的十分でない物質, すなわち, 疫学研究からの証拠が限定的であり, 動物実験からの証拠が十分でない。または, 疫学研究からの証拠はないが, 動物実験からの証拠が十分である。			
		OEL-M	0.3 mg/m <sup>3</sup> (チタン)	日本産業衛生学会 (許容濃度)
	詳細情報: 発がん物質, 「第 2 群 B」に分類される物質は, 証拠が比較的十分でない物質, すなわち, 疫学研究からの証拠が限定的であり, 動物実験からの証拠が十分でない。または, 疫学研究からの証拠はないが, 動物実験からの証拠が十分である。			

		TWA (呼吸濃度)	0.2 mg/m <sup>3</sup> (二酸化チタン)	ACGIH
		TWA (呼吸濃度)	2.5 mg/m <sup>3</sup> (二酸化チタン)	ACGIH
水酸化アルミニウム	21645-51-2	OEL-M (吸入性粉じん)	2 mg/m <sup>3</sup>	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		OEL-M (総粉じん)	8 mg/m <sup>3</sup>	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		TWA (呼吸濃度)	1 mg/m <sup>3</sup> (アルミニウム)	ACGIH
ε-caprolactam	105-60-2	TWA (吸入濃度および蒸気)	5 mg/m <sup>3</sup>	ACGIH

## 保護具

- 呼吸用保護具 : 通常、呼吸用保護具は必要ない。
- 手の保護具  
備考 : 製造メーカーと相談の上、作業場所に相応しい防護手袋を着用すること。
- 眼の保護具 : 純水入りの眼洗浄ボトル  
密着性の高い安全ゴーグル  
プロセス中に異常が起きた場合は、顔面シールドと保護服を着用する。
- 皮膚及び身体の保護具 : 不浸透性衣服  
作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、保護具を選択する。

## 9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 液体
- 色 : 着色
- 臭い : 特徴的
- 融点／凝固点 : データなし
- 沸点又は初留点及び沸騰範囲 : データなし

### 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界

爆発範囲の上限 / 可燃上限 : データなし  
値

爆発範囲の下限 / 可燃下限 : データなし  
値

引火点 :  $\geq 94$  °C

方法: セタ密閉式引火点試験

分解温度 : データなし

pH	:	非該当
自然発火温度	:	データなし
粘度		
動粘度（動粘性率）	:	<= 14 mm <sup>2</sup> /s
溶解度		
水溶性	:	不溶
溶媒に対する溶解性	:	溶剤: 可溶性 : 有機溶媒
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
密度及び／又は相対密度		
密度	:	1.10 - 1.20 g/cm <sup>3</sup>
相対ガス密度	:	データなし
粒子特性		
粒子サイズ	:	非該当

---

## 10. 安定性及び反応性

反応性	:	指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
化学的安定性	:	指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
危険有害反応可能性	:	指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
避けるべき条件	:	データなし
混触危険物質	:	非該当
危険有害な分解生成物	:	危険有害な分解生成物は知られていない。

---

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

飲み込むと有害。

### 製品:

急性毒性（経口）	:	急性毒性推定値: 1,558 mg/kg 方法: 計算による方法
急性毒性（経皮）	:	急性毒性推定値: > 2,000 mg/kg 方法: 計算による方法



**皮膚腐食性／刺激性**

皮膚刺激。

**製品:**

備考 : 組織を極度に腐食し破壊する。

**眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性**

重篤な眼の損傷。

**製品:**

備考 : 眼に永久的な損傷が起こることがある。

**呼吸器感作性又は皮膚感作性****皮膚感作性**

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

**呼吸器感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**製品:**

備考 : 感作を起こす。

**生殖細胞変異原性**

データが不足しているので分類されていない。

**発がん性**

データが不足しているので分類されていない。

**生殖毒性**

生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。

**特定標的臓器毒性（単回ばく露）**

呼吸器への刺激のおそれ。

**特定標的臓器毒性（反復ばく露）**

長期にわたる、又は反復暴露による臓器（呼吸器、呼吸器系）の障害。  
長期にわたる、又は反復ばく露により臓器（全身毒性）の障害のおそれ。

**誤えん有害性**

データが不足しているので分類されていない。

**詳細情報****製品:**

備考 : データなし

---

**12. 環境影響情報****生態毒性**

データなし

**残留性・分解性**

データなし

**生体蓄積性**

データなし

**土壌中の移動性**

データなし

**オゾン層への有害性**

非該当

**他の有害影響****製品:**

生態系に関する追加情報 : 職業上の規則に反した取り扱い、処理が行われた場合は、環境に及ぼす危険性を除外して考えることはできない。  
長期継続的影響によって水生生物に毒性。

---

**13. 廃棄上の注意****廃棄方法**

残余廃棄物 : 本製品を排水溝、水路、地面に流さないこと。  
薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。  
認可された廃棄物処理業者へ委託する。

汚染容器及び包装 : 残りの容器を空にする  
製品入り容器と同様に処分する。  
空の容器を再使用しない。

---

**14. 輸送上の注意****国際規制****陸上輸送 (UNRTDG)**

国連番号 (UN number) : 非該当  
国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当

国連分類 (Class) : 非該当  
容器等級 (Packing group) : 非該当  
ラベル (Labels) : 非該当  
環境有害性 : 非該当

**航空輸送 (IATA-DGR)**

UN/ID 番号 (UN/ID number) : 非該当  
国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当

国連分類 (Class) : 非該当  
容器等級 (Packing group) : 非該当  
ラベル (Labels) : 非該当  
梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft)) : 非該当

梱包指示（旅客機）(Packing instruction (passenger aircraft)) : 非該当

環境有害性 : 非該当

### 海上輸送(IMDG-Code)

国連番号 (UN number) : 非該当

国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当

国連分類 (Class) : 非該当

容器等級 (Packing group) : 非該当

ラベル (Labels) : 非該当

EmS コード (EmS Code) : 非該当

海洋汚染物質(該当・非該当) (Marine pollutant) : 非該当

### 国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

### 特別の安全対策

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのために、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります。

緊急時応急措置指針番号 : 171

## 15. 適用法令

### 関連法規

#### 消防法

第四類, 第三石油類, 非水溶性液体, 危険等級 III

#### 化審法

##### 優先評価化学物質

化学名	番号
ε-カプロラクタム	82

### 労働安全衛生法

#### 製造等が禁止される有害物

非該当

#### 製造の許可を受けるべき有害物

非該当

#### 健康障害防止指針公表物質

非該当

#### 変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

#### 変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

**名称等を通知すべき危険物及び有害物**

法第 57 条の 2 (施行令別表第 9)

化学名	含有量 (%)	備考
酸化チタン (IV)	>= 10 - < 20	-

含有量が幅表記のものは営業秘密に該当する為です。

【アンモニア】アンモニア純分の含有率は上記含有量 (%) の 25%分となります。

**名称等を表示すべき危険物及び有害物**

法第 57 条 (施行令第 18 条)

化学名	備考
酸化チタン (IV)	-

【アンモニア】アンモニア純分の含有率は上記含有量 (%) の 25%分となります。

がん原性物質 (労働安全衛生規則第 577 条の 2)

非該当

**特定化学物質障害予防規則**

非該当

**鉛中毒予防規則**

非該当

**四アルキル鉛中毒予防規則**

非該当

**有機溶剤中毒予防規則**

非該当

**毒物及び劇物取締法**

非該当

**化学物質排出把握管理促進法**

非該当

**廃掃法**

## 16. その他の情報

本 SDS において労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます

日付フォーマット : 年/月/日

**その他の略語の全文**

ACGIH : 米国。ACGIH 限界閾値 (TLV)  
 日本産業衛生学会 (許容濃度) : 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 -I. 化学物質の許容濃度  
 ACGIH / TWA : 8 時間、時間加重平均  
 日本産業衛生学会 (許容濃度) / OEL-M : 許容濃度

AIIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50% 阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50% 致死濃度; LD50 - 50% 致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリ; (Q) SAR - (定量的) 構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TECI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリ; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法(米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA